

長野便教会報

ひとつ拾えばひとつだけきれいになる

令和3年8月12日(木) 第101号

1 培其根

過日、箕輪町立箕輪中学校の土屋克明先生から「次の清掃サミットには参加したい」といううれしい連絡をいただきました。長野県は、「東信」(群馬県寄りの地域)・「北信」(新潟県寄りの地域)・「南信」(山梨・静岡・愛知県寄りの地域)・「中信」(岐阜県寄りの地域)の4つのブロックに大きく分かれるのですが、箕輪町は伊那市のお隣の町で「南信」にあります。これまでの清掃サミットは、会場校も参加校も「北信」の学校が中心で、地理的に距離がある「南信」からの参加はほとんどありませんでした。でも、オンラインならば距離は関係ありません。箕輪中の皆さんが、「南信」から新しい風を送ってくれることと思います。今回が2回目となるオンライン清掃サミット。今から楽しみです!

全校721名が「いざや学ばん 真善美」と集う



箕輪町立箕輪中学校

「根を養えば 樹はおのずから育つ」

～心根を育てる清掃を目指して～ 箕輪町立箕輪中学校 教諭・土屋 克明

2月のオンラインによる清掃サミット大成功の会報をいただき、ありがとうございました。南信の離れた学校にいなながらも、いっそう清掃を頑張ろうという気持ちになれました。改めて感謝申し上げます。自分も子どもたちとやっている朝の草取りや、普段の清掃、トイレ掃除を頑張りたいと思います。

本校では、東井義雄先生の「ぞうきんで床をぬらしているから拭いているとはいえない。」という言葉を受け、教師が「心をこめて」清掃をすることを子どもたちと共有し、日々の清掃に取り組もうと努めています。職場では大先輩のM先生の、「子どもたちを育てる立場にある、私たち教師の姿がまず大切なんだ。」という呼びかけを受け、まず教師が成長するところから始まりました。朝、玄関の掃き掃除や花壇まわりの草取りを教師が率先して行い、子どもたちを迎えます。呼びかけをしてくださったM先生は、学校中で誰よりも早く、昼休みの業間から、子どもたちが多く行き交う渡り廊下で黙々と雑巾がけをし、その姿に心が動いた先生方がいっそう早く、まずは自らが床に膝をつけ、床を磨くようになりました。

そうしていると、子どもたちの中から何も言わずとも一緒に玄関を竹ぼうきで掃く生徒が現れました。そのKさんとAさんに、「どうして掃き始めたの?」と聞くと、「先生たちだけにやらせているのはおかしい。私たちが学校をきれいにしたくなった。」と返ってきました。そのKさんとAさんが掃く姿に心が動いた子どもたちがいます。吹奏楽部の子どもたちが顧問のI先生やF先生の姿に心が動き、一緒に掃き掃除をしています。そうした仲間の姿に野球部や陸上部の子たちも率先して動きます。サッカー部は自ら使うグラウンドの草取りを、当たり前に行っています。まず教師が清掃で自分を磨き、自らを高めようとする心をもつことで、子どもたちは自然と成長を見せてくれるようになりました。

そんな主体的に掃除をしている子どもたちに、「どうして掃除をするの?」と問うと、その子なりに清掃と向き合った実に多様な答えが返ってきます。陸上部のHさんは「仲間やみんなが使う場所だから。」と、バレーボール部のYくんは、「カバーする力を高めたい。」と、清掃委員のAくんは「校舎に感謝を伝えたい。」と答えてくれました。確実に、清掃で子どもたちの心は育っていくと確信しています。

本校でも新学習指導要領の方向を受けて、生徒の主体的な学習への姿勢を育むための「自学の時間」を捻出するために、清掃がない日課を一週間の中に位置づけざるをえなくなりました。私も含め職員の中から、清掃のない日をつくることへの危惧の声も多くなりましたが、子ども



たちはそんな職員の心配をも超えていく力をもっていました。清掃のない日の昼休みには、廊下や階段・玄関などを進んで掃除をする子どもたちが、何人も現れました。校舎の床の色、輝きにも子どもの心の育ちが現れ始めています。今年度の生徒会スローガンには、「進取果敢～キミが心を動かすとき～」という言葉掲げています。主体的に清掃に取り組み、県内の他の中学校の実践に学び、さらに子どもたちと人間力を高める清掃を心がけていきたいと思ひます。

次の清掃サミットには、参加したいと思ひます。初参加ですが、よろしくお願ひいたします。



東井義雄先生の「培其根」の精神で、率先垂範されている箕輪中の先生方のお姿に敬服いたします。土屋先生からは、清掃委員会の正副委員長さんのお掃除に対する熱い思いも送られてきましたので、ご紹介します。

思いを伝える

清掃委員会委員長 3年・藤澤 友翔

箕輪中学校では、昔からの伝統として清掃で特に大切にしたい3つのことがあります。それは「かたち」「気づき」「無言」です。「かたち」は、清掃のやり方や準備のこと。「気づき」は、汚れている所に気づいて清掃すること。「無言」は、清掃中にしゃべらずに集中して取り組むことです。この3つを徹底することで、生徒一人ひとりに「実行力」「集中力」「気配り」の3つが身につくと考えています。

そのために箕輪中では、清掃前の呼びかけを行っています。各クラスの清掃委員が清掃が始まる前に身支度の確認や注意、最近の清掃の様子から気をつけてほしいことやがんばっている姿などを呼びかけています。始めたばかりの活動なので、まだまだ全校の意識は高くありませんが、最終的には最終的には委員以外の生徒どうして呼びかけし合えるよう、意識を高く呼びかけを続けていきたいです。

そして僕には、委員や全校に企画を伝えるときや放送をするときに大切にしていることがあります。それは、「思いを伝える」ことです。何か企画をとおすときに、「こういう企画を行うので、連絡してください」だけでは、委員もやる気が起きないし、企画も気持ちや考えのない、つまらないものになってしまいます。しかし、その時に企画の意図やがんばってほしいことを言葉にすれば、その企画に熱が入って、実りのあるものになると思います。これからも学校がより良くなるように、思いを伝えていきたいです。

自分の心をきれいにしよう

清掃委員会副委員長 3年・碓井 志桜里

私たち清掃委員会が行っていることは、清掃終了5分前の放送です。主に副委員長である私が担当しています。この放送は5分前を知らせることだけではなく、最後の5分間を全校の皆さんに集中して取り組んでもらえるように放送しています。今までは、その日の清掃の良かったことと悪かったことを一言そえていました。

しかし、今年は少し変え、全校の皆さんに「残り5分だからいいや」ではなく、「残り5分だからがんばろう」と思える内容や、おすすめの清掃方法、最近の清掃中の生徒の様子を放送しています。また、清掃をしてきている全校の皆さんへの感謝の気持ちも伝えています。清掃はほとんど毎日あり、話す内容を考えるのはとても大変です。でも、後輩やクラスメイト、時には先生方から「良い放送してるね!」や「毎日がんばれるよ」と声をかけてくれたり、私の放送した内容に対して全校の皆さんが清掃で応えてくれたりします。それが私の励みになっています。

次に私が大切にしていることは、清掃の質を上げ、校舎だけではなく自分の心もきれいにしてもらうことです。そのために、私たちは今年の清掃委員会の目標を「清掃を通して自らと向き合い、”自分の心”をきれいにしよう」にしました。清掃をすると心がスッキリして良い気分になり、いつの間にか心もきれいになれると思うのです。心のきれいな人は頼りにされるし、他の人とは違うその人の良い個性が認めてもらえると思います。私は、箕輪中生一人ひとりがそのようになってほしいと願っています。

でも、今の現状はそれが伝わっているかどうか…というところがあります。もっと委員に呼びかけをしてもらったり、放送内容を工夫していくなどの対策を行っていききたいと思います。

2 お知らせ

○小布施掃除に学ぶ会・月例会→毎月第2㊦曜朝6時～8時30分(5:45にはご集合ください)

7月に久しぶりに月例会を実施しましたが、8月は感染レベルの上昇につき、中止しました。9月以降も感染レベルを見て判断していきます。

○第14回長野県中学校清掃サミット・オンラインの部→令和3年9月5日(日)午前9時30分～11時30分

過去最多の13校(県内11校・県外2校)からお申込みをいただきました!ありがとうございます。

8月に入り、今年も出穂の時期を迎えました。鍵山相談役から教えていただいた道歌に「この秋は雨か嵐か知らねども 今日のとつとめの田の草を取る」があります。私はこの歌を口にするとき、「将来に成果の確約がないことであっても、今日自分が為すべきことに全力を尽くすのだ」という不動の決意を感じます。開催に賛否両論があった東京五輪ですが、選手の皆さんの大活躍により日本は過去最多のメダル獲得で閉幕しました。戸惑いや不安の中にあっても、来たるべきその日に向けて着々と準備を重ね、努力を怠らなかつた選手たちの姿が、この道歌に重なって見えます。しかしそれは日本人選手だけでなく、外国人選手も、それぞれの選手を支えるコーチ陣もみな一緒なのではないでしょうか。もっと言えば、組織委員会のスタッフも大会ボランティアも、メディア関係者も空港関係者も、医療従事者も関係するすべての皆さまが、どうなるのか先が見通せず状況が二転三転する中でも、懸命に「今日のとつとめ」を果たしていただいたからこそ、最後まで大会ができたのだと思います。そうした表に出ない大勢の皆さまの努力や存在を、今大会のレガシー(遺産)として語り継ぎたいですね。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(中野市立高社中学校教諭)
携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp

小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>